

2007 年度

科目名 文化財学研究指導及び演習 (文化財形態論)	対象学科・学年 研究科前文1回生 研究科後文1回生	担当者 阪田 宗彦
授業テーマ 舍利荘嚴の諸相とその展開		
授業の概要と目標 東アジアに伝存する多種多様な仏教美術のうち、中核をなすと考えられる舍利信仰とこれを背景に生みだされた舍利荘嚴の具について概観する。あるものは講義形式、あるものはテーマとして発表形式とする。 スライド、DVD、VHS を使用する。		
評価方法 各自のテーマに対する研究態度およびその成果の発表によって評価する。		
テキスト 使用しない。必要に応じてプリントを配布する。	著者	出版社
参考書 使用しない。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1～2. 序章—仏伝の概説 釈迦八相 3～5. 分舍利と仏塔起塔 サンチー 第1～第3塔 6～8. 古代インドの舍利容器 ヒプラファー大塔からの出土品 9～11. イギリスに伝存するインドの舍利容器—カニンガム・コレクションを中心に 12～14. 中央アジアの舍利容器 大谷光瑞およびル・コックの請来品を中心に 15. レポート作成 16～18. 中国唐代の舍利信仰とその遺品—法門寺地価宮殿発見の遺品を中心に 19～21. 朝鮮半島にみる歴代舍利荘嚴の諸相 22. 非華経と舍利 23～27. わが国の上代以来の舍利信仰の遺例にみる荘嚴形制 28～29. 舍利と宝珠 30. レポート作成 上記の順序で進めるが、一部変更する場合もある。前期の6～8、9～11は英文講読になる。		